

ある日^ひのことです。

お釈迦^{しやか}さまは極楽^{ごくらく}の蓮池^{はすいけ}のふち
を、ひとりでぶらぶらお歩^{ある}きに
なっ^ていらっしやいました。

池^{いけ}の中^{なか}に咲^さいている蓮^{はす}の花^{はな}は、
みんな玉^{たま}のよう^ににまっ白^{しろ}で、
そのまん中^{なか}にある金色^{きんいろ}の蕊^{しべ}から
は、何^{なん}とも言^いえないよい匂^{にお}いが
ただよっ^ております。

芥川龍之介^{あくたがわりゆうのすけ}「蜘蛛^{くも}の糸^{いと}」より